

宮城県立がんセンター広報誌

Miyagi Cancer Center

創刊号

2022.7 Vol.1

# せりなべ

おしえてせりじい!

やくざいしがいらい  
薬剤師外来を知る

宮人ハ語ル

病院長 山田 秀和

昔と今と未来の話

毎回がんセンターのスタッフに焦点を当てて、その人物に自身の思いを語ってもらおう。今回は、院長の山田秀和医師に語ってもらいます。

# みやびと 宮人の語ル



## やまだ ひでかず 山田 秀和 病院長

### プロフィール

福島県の南相馬市（旧原町市）出身。  
原町高校・福島医大を卒業し、産婦人科に入局する。  
2010年に長年住んだ福島市から宮城に移住し、  
東北大学附属病院に勤務する。  
2011年に宮城県立がんセンターに異動し今に至る。  
今でも両親は福島県南相馬市で暮らしている。

宮城県におけるがんの制圧拠点として、県のがん医療を支える宮城県立がんセンター。がんに関する専門的かつ高度な診療機能を確保し患者さんが最善・最適な診療が受けられるように努めています。今回は、院長の山田秀和のこれまでとこれからについて聴きました。

### どんな学生時代でしたか？

小学校のころから走るのが早かったこともあり、中学時代から陸上競技をやっていました。それほど熱心に練習をしたわけではなかったのですが、中学時代は三種競技（400M走、走り幅跳び、砲丸投げ）で全日本中学陸上選手権に出場し2位になっています。高校時代も国体に2度ほど出場していますし、自分で言うのもなんですが、まずまずの成績だったと思います。大学で本当はラグビーをやりたいと思ったのですがラグビー部がなかったので仕方なく陸上を続けました。本職は幅跳びと思っていますが、大学時代は体重が増え怪我が多く投てき種目がメインになってしまいました。東日本の医学生生大会では何度か優勝したり大会記録を出したりもしていました。でも陸上に明け暮れた学生時代では決してなく、大学1年か



約40年前

ら付き合ってた当時の彼女（今の妻）とよく一緒にいました。まあ今思うと勉強もクラブ活動もそれなりにやり、彼女や友人とも普通に遊んでいたごくごくありふれた大学生だったと思います。でも楽しかった思い出ばかりです。

### 婦人科を

### 選んだきっかけは？

本当は大学5年生の頃はもう外科に行こうと決めていました。当時の福島医大の産婦人科は教授と医局員とがもめていて惨憺たる状況でしたので産婦人科は全く考えていませんでした。消化器外科医になり勤務医として働くものと勝手に自分で思っていました。その後、恩師となる佐藤章先生が東北大から教授として赴任し産婦人科の雰囲気が一変しました。そして何より産婦人科で実習した際に分娩に立ち会う機会があり、出産したばかりの母親が感動で涙を流している姿を見て「こんな場に立ち会える職業って素晴らしい」と純粋に思ったことが入局の決定打となりました。でも産科をやりたいくて産婦人科を選んだのですが、入局して早々に教授から「お前は癌をやってももうからな」と言われて現在に至っています。

### 福島時代について

医者になって最初の2年間は福島県立三春病院



約40年前

というところで研修をしています。分娩は年間500件以上ありましたが、産婦人科の医者は上司と私の2人だけで、週6日でお産当番をやり2年間で1000件近い分娩を経験しています。大学に戻ってからは婦人科のがん一筋で、1992年からはカリフォルニアのサンディエゴのラホヤ癌研究所というところで2年半留学生活も経験しています。とにかく手術が上手になりたい、化学療法に熟練したいというのが最大のモチベーションで仕事をしてきました。大学では医局長を5年以上やりましたし、30代後半からは人手不足の医局でずっと婦人科のチーフをやらせてもらいました。その当時は振り返ると自分で「もう無理」と何度も弱音を吐きそうになるほど過密なスケジュールで生活していたように思います。そして恩師の佐藤教授が2010年に67歳という若さで亡くなるまで大学に勤務していました。医局を離れて市中病院での勤務を模索していた際に東北大学の八重樫教授からがんセンターへ移動のオファーを頂きこちらに移ってきました。



## がんセンターの魅力は？

とにかくスタッフのチームワークがいいことですね。違う診療科のスタッフでもお互い気心が知れていることが多いので自然と連携が取れています。スタッフ相互の顔が見える医療ができるのにはこのぐらいの規模の病院がちょうどいいのかもかもしれません。ご承知の通りがんの治療は1人の医者がすべてを行う時代ではなく、患者さんをいろんなスタッフがかかわって成り立つチーム医療だと思います。当院の様にチームワークのよい病院に安心して受診して頂き、あるいは大切な患者さんを任せて頂ければと思います。

## これからの展望について

我々はがん治療のプロフェッショナルだと自負していますし、最先端の医療を提供することが最大の使命と考えています。単に患者さんを治すだけでなく精神面や療養環境からも患者さんをバックアップして「よりよく治す」ことも大きな使命だと感じています。これらを実現するために病院長になってからの4年間に様々なプロジェクトに取り組んできました。これからは「がんゲノム医療」や「低侵襲外科治療（腹腔鏡やロボット手術）」などの最先端の治療を今後も推し進めていきます。そして、患者サポートセンターに代表されるような「患者支援」にも力を入れていきたいと思っています。ご承知の様に現在当院は統合や移転問題の渦中にあります。統合が進むには難しい課題がたくさんあると認識していますが、当初の目標の通りに「がんを総合的に診る病院」ができることを心から期待しています。そして統合によって宮城県のがん治療が決して後退しないことを強く望んでいます。病院長として何より大切なのは患者さんと職員です。どちらにも統合問題で浮足立たずに安心して治療に専念できるような環境をこれからも作っていきたくと考えています。



呼吸器外科 阿部 二郎

## 手術支援ロボットによる肺癌手術

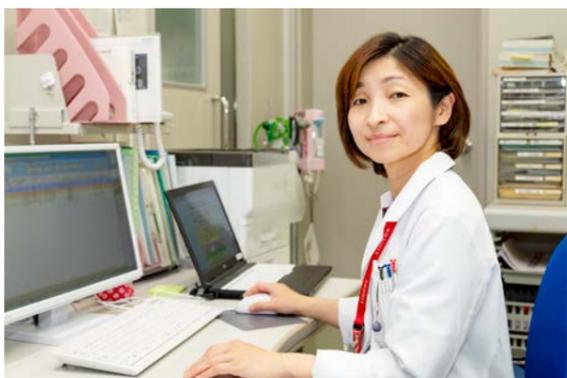
呼吸器外科では2021年10月から手術支援ロボット（ダビンチ）による肺癌手術を始めました。フルハイビジョンや4Kなどといった映像技術の進歩とともに、胸腔鏡による肺癌の手術が世界の標準手術に置き換わりつつあります。さらに、胸腔鏡を搭載した手術ロボットを用いて肺癌の切除を遠隔操作で行えるダビンチが取り入れられ始め、これも世界中で広まっています。

た敵しい安全基準をクリアする必要があります。今年1月から5月末まですでに15例の肺癌手術をロボットで実施しており、年間30〜40例の実施を見込んでいます。



きています。ロボット手術の利点は、高解像度の3Dカメラで良好な立体視ができること、3本あるロボットの手の関節を体の中で曲げることができるため、複雑で精細な手術を遠隔操作で行えることです。保険診療でロボットを用いた肺癌手術を行える施設は、宮城県では東北大学病院と宮城県立がんセンターの2病院だけです。また、手術ロボットを用いて肺癌を切除することが出来る呼吸器外科医は、十分なトレーニングを積んだうえで学会等により定められ

## ドクターは伝えたい「がん」のこと



婦人科 海法 道子

## 卵巣がん治療の up to date

卵巣がんは近年増加傾向にあり、日本では年間約1万3千人が罹患しています。自覚症状があらわれにくく、進行してから発見されることが少なくありません。卵巣がんの治療は手術・抗がん剤治療の組み合わせで行われますが、腹腔内や他の臓器に病気が広がって見つかった場合には完全に治すことが難しいケース、一旦治ったように見えても時間が経って再

発するケースが多くあります。最近、このような進行卵巣がん、再発卵巣がんの抗がん剤治療後に再発を予防する、もしくは再発までの期間を先延ばしにする治療が保険収載されました。PARP阻害剤内服維持療法です。

がんを引き起こす原因のひとつであるDNA損傷を修復する仕組みの異常を利用した分子標的薬の一つです。

PARP阻害剤が効きやすいタイプの癌かどうか、体質かどうかを調べる検査である「コンパニオン

## 宮人を知る



山田先生は術前の手洗いに面白い話や美味しいお店の話をしてくれて、看護師は緊張感がある中、山田先生の話聞いて過度な緊張がほぐれてほっと出来ています。

手術中の重要な局面では、医師や看護師にも適切な指示を出してくれるのでとても頼りになる先生です。

手術室看護師 臺野 さん



「病院長」と聞くと少

し近寄りやすいイメージがあるかと思いますが、そのようなことは全くなく一言で表すとても優しい先生です。外来、病棟、手術など婦人科医師としての仕事と並行しての病院長業務は本当に大変なことだと思います。多忙な日々を過ごしながらも疲れた顔一つ見せずにいつも笑顔で患者さんや私たちスタッフにやさしく接してくれます。

医師事務作業補助者 高村さん



おしえて  
せりじい!

# 薬剤師 外来を知る ～前編～

当院では、薬剤師が外来患者さんと直接お話する場が2つほどあります。ひとつは、主に手術を予定されている患者さん向けの「入院前薬剤師外来」、もうひとつは、通院で抗がん剤治療を受ける患者さん向けの「がん薬剤師外来」です。本号では、ひとつめの「入院前薬剤師外来」についてご紹介します。

患者さんの安全を守る

## 入院前薬剤師外来のご紹介

大方の皆様の連想する薬剤師の業務は、医師の処方箋に沿って薬を調剤し患者さんにお渡しすることだと思えます。もちろん処方箋を介した業務は薬剤師の重要な仕事ですが、それに加えて2019年5月、入院前薬剤師外来を開設いたしました。

従来初めて当院を受診される方は自分の順番になるまで外来でお待ちいただき、医師が紹介状などを確認して合併症や飲んでいる薬を確認し治療計画を立てていました。お薬手帳に記載のない市販薬やサプリメントを内服されている場合や、薬によっては検査・治療に合わせ休薬が必要なものもあるため、常用薬の把握は非常に重要です。そこで医師の診察前に薬剤師が患者さんからお話を伺ってお薬手帳の確認とそれ以外に使用している薬がないかどうか等を確認します。

入院前薬剤師外来の開設は、医師にとっては問診時間の短縮だけでなく正確な服薬情報の把握が適正な治療方針につながり、薬剤師にとっては新たな貢献の場となり、患者さんにとっては待ち時間の有効な利用となにより安心・安全な治療を受けていただくことに繋がるものと考えています。

## 1 患者さんと面談

薬剤師による患者さんとの面談を行い服用している薬やサプリメントの種類を伺います。



## 2 カルテへ記録

患者さんの情報を薬剤師はカルテへ入力します。



## 3 医師が記録を確認

薬剤師の記録を元に休薬の指示をオーダーします。



## 4 患者さんへ説明

医師からの指示を看護師が患者さんへ説明します。



## 5 説明文の配布

説明後、飲むのをやめてほしい薬の内容を記載した説明文をお渡しします。



## 6 手術日当日

手術日に併せて、お薬の服用を中止しているため、安全に手術を行うことができます。



# 宮友ト語ル

## 原田乳腺クリニック



院長 原田 雄功

山形県立山形東高校、東北大学医学部を卒業し、東北大学病院第2外科に入局する。平成6年に医学博士号を取得し、仙台市立病院で勤務したのち、平成22年11月に原田乳腺クリニックを開院する。平成26年4月からは東北大学医学部臨床教授（乳腺・内分泌外科担当）としても活躍されている。

### 【クリニック紹介】

当院は2010年11月にJR名取駅西口前に乳腺専門クリニックとして開業しました。院内はリラックスできる空間にこだわり、あえて病院らしくない設計にしました。開業して4ヶ月後には東日本大震災に見舞われましたが、たくさんの方々のご支援を賜り現在に至ります。

当院は乳腺に加え、甲状腺に関する疾患の治療と経過観察、乳がん検診の二次精密検査、乳がん術後の経過観察などを行っています。また、授乳中の乳腺炎や乳腺腫瘍などに対する外科的な処置も行っています。

開院から昨年12月まで、当院で発見した乳がん総数は1007例で、昨年は135例見つかりました。

当院で発見された方は、以前は希望があれば私が仙台市立病院に出向き手術を施行していましたが、現在は多くの患者さんを県立がんセンターに紹介しております。

この他乳がん自費検診も行っておりますが、予約なしでも優先的に行い、結果も当日中にお伝えしています。検診内容はマンモグラフィ・超音波・視触診で、年齢や希望に応じて検査方法を組み合わせて丁寧な検診を行います。

当院は紹介状などの手間なく受診が可能です。乳房のちよつとした違和感や痛みなど気軽に相談できるのが当院の役割と心得ています。

### 【がんセンターに期待すること】

乳腺腫瘍の診断に必要な穿刺吸引細胞診や針生検等の病理検査は、昨年8月から県立がんセンターに診断を依頼しています。検査数は年々増加傾向にあり、昨年施行された針生検総数は198例でした。検査提出から結果が届くまでの時間が以前より長く、この点は改善する必要があると感じております。

近年、乳がんに対する治療は飛躍的に進歩しております。特に遺伝性乳がんの診断とPARP阻害剤治療、CDK4/6阻害剤の適応拡大、Triple negative 乳がんに対する免疫チェックポイント阻害剤の使用など、クリニックでは対応できないことが増えております。こうした症例に対する適切な対応や予防的乳房切除などへの対応もお願いしたいと考えております。症例によっては、多職種で連携して治療にあたる場合もあります。治療が困難な症例・再発治療への対応もお願いしたいと考えています。

昨年県立がんセンターで手術などの治療が一段落し、経過観察中の乳がん術後患者の逆紹介数が増えました。乳癌は治療期間や経過観察期間が長く、患者さんは再発・転移の不安を



抱えています。今後も県立がんセンターと連携しながら、乳がん患者さんの長期に渡る適切なフォローアップを継続したいと考えています。

### 診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
09:00～12:00	○	○	/	○	○	○	/
14:00～17:00	○	○	/	○	○	○	/

### 基本情報

- 【休診日】水曜、日曜、祝日
- 【診療受付時間】午前：08:40～11:30、午後：13:40～16:30
- 【電話番号】022-398-7703
- 【住所】〒981-1231 宮城県名取市手倉田八幡 423-1
- 【診療科】乳腺外科

公式HP



# がん情報ラジオについて

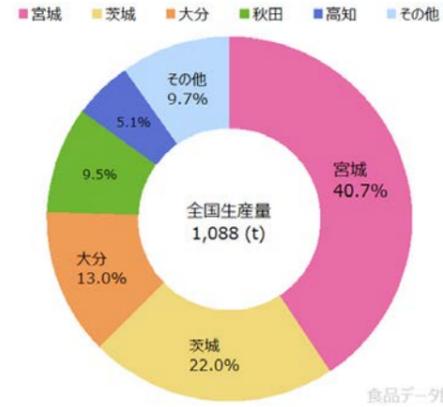


当センターでは、がんセンターのスタッフががんに関する話題を紹介していくラジオ番組「がん情報ラジオ」をエフエムなとりにて放送しています。

放送時間は、毎週金曜日夕方5時30分から5時44分、翌土曜日の午前9時16分から9時29分に再放送も行ってあります。また、がん情報ラジオはYouTubeにて過去放送分もすべてご視聴いただけます。がん情報ラジオでご検索いただくか、右記のQRコードからご視聴いただけます。QRコードを読み取りチャンネル登録をしていただくと幸いです。



せり生産量の都道府県別シェア（2018年）



食品データ館

出典：農林水産省2018「地域特産野菜生産状況調査」から作成

# 栄養管理室から 栄養と 食べ物のおはなし

## 宮城県のせりは日本一！

せりなべ創刊号につき「せり」についての特集です



### 名前の由来

せりは一見ミツバに似ていますが、葉の数を数えると見分けられます。ミツバが三枚なのに対し、せりは5枚です。せりの名前の由来は、「競り合う」からきています。せりは、競り合って一カ所で生育するため、せりと名がついたといわれています。

### せりの歴史

春・冬が旬の野菜です。歴史は古く、千年もの永きにわたり栽培され続けてきました。県内での栽培のはじまりは江戸時代初期に現在の名取市で、野生せりを栽培していたとの記録があるそうです。



### 選び方と保存方法

香りが強く、葉の先までみずみずしい、濃い緑色のものを選びましょう。保存は湿らせたキッチンペーパーで根元を包みます。さらにビニール袋に入れて、野菜室に立てて保存しましょう。



### せりの栄養

せりに含まれるビタミンCは抗酸化作用が強く免疫力を高め、βカロテンにも免疫力を高める効果や、肌・粘膜を正常に保つ効果もあります。血液や骨を作るのに大切なビタミンやミネラルも豊富に含まれています。

## 交通案内

**J 桜交** 東北本線名取駅下車、バスまたはタクシーを利用  
**R 南交** 名取駅西口から「県立がんセンター線」(なとりん号)を利用  
**自家用車** 名取駅西口から「北目上原線」(なとりん号)を利用  
仙台南インターからは、国道286号バイパス経由  
県道仙台・岩沼線を利用 (所要時間約15分)

### 地域医療連携室のご案内

地域医療機関の先生方からご紹介を受けた患者さんの診療予約をお取りしてスムーズな受診ができるようにしております。

○受付 午前8時30分～午後5時15分  
○TEL (022) 381-5152(直通)  
(022) 384-3151(代) 内線123  
○FAX (022) 381-1169(地域医療連携室)

**宮城県立がんセンター**  
〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野山47の1  
電話(代表) (022) 384-3151 FAX(企画総務課) (022) 381-1168

□ゴマークの3本の柱は「治療、予防、研究」を、上の「まる」は患者さんを表わしています。3本の柱が、患者さんを支えるという意味です。

## 編集後記

宮城県はせりの生産量全国1位で、なかでも名取市は8割を占める最大の生産地です。某ケンミンショーにも登場したせり鍋は鶏肉やゴボウと一緒にせりをいただく美味しくして庶民的な宮城のソウルフードです。今回私たちは地域の皆様にご紹介したことを改めてご紹介したく思い、この広報誌を創刊しました。タイトルのせり鍋には①地域に密着した、②親しみやすい、③新鮮な素材(情報)でつくりあげる、④皆で楽しめる情報誌にしたいとの思いが込められています。

創刊号では院長を具材(?)に、しっかり火を通してご紹介したいと思えます。ほかにも当院での新しい取り組みなどをご紹介してまいります。皆様からのご質問もいただきつつ、具だくさんの鍋にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします

編集委員長

大友 圭子  
海法 道子

## せり料理レシピ紹介

### 「せりなべ」



#### 材料 (2人分)

鴨肉 200g せり 120g  
豆腐 100g 舞茸 100g  
ごぼう ½本 長ねぎ ½本  
\*お好みの具材を追加してもOK

めんつゆ(濃縮タイプ) 50cc  
酒 50cc  
水 800cc

#### 作り方

- ①鴨肉、豆腐、舞茸食べやすい大きさに切る。
- ②ごぼうはさきがきにし、酢水につけあくをとる。
- ③せりは10cmくらいに切る。  
(根っこは歯ブラシ等使用しすると泥がきれいに落ちます。)
- ④長ねぎは斜めに切る。
- ⑤①～④の具材と調味料を鍋に入れて煮る。



# 広報カメラが切り取る がんセンターの日常 みやふおと

撮影 広報担当



本誌はホームページからもご覧いただけます。

こちらもチェック！  
がんセンター公式  
YouTube チャンネル



宮城県立がんセンター広報誌

せりなべ 創刊号 2022年7月1日発行



地方独立行政法人宮城県立病院機構

宮城県立がんセンター

〒981-1224 宮城県名取市愛島塩手字野田山47の1

<https://www.miyagi-pho.jp/mcc/>

【広報誌に関するお問合せ】TEL 022-384-3151 (代)

